

令和6年度林業イノベーションハブ構築事業

第3回デジタル分科会 議事概要

日時：2025年1月23日（木）13:30～16:45

場所：東京都千代田区六番町7番地 日林協会館 3階 大会議室（Web会議併用）

(1) 事業の実施報告（最終報告）

質疑応答無し

(2) デジタル林業戦略拠点採択地域からの報告

(3 地域全体)

- 2月6日のシンポジウムの発表時間は15分であるため、パワポ資料は1枚1分で、全体15枚程度でまとめてほしい。
- 発表内容について、サプライチェーンをメインで、プラスアルファでほかの要素技術という形にまとめてほしい。
- デジタル化していくことによって、流通がこのように変わっていくという点に触れてほしい。北海道による工場直送、静岡による大型合板工場への供給、鳥取県による多から多という3地域それぞれの特徴が分かるように発表してほしい。
- 今のサプライチェーンのシステムの規模感が伝わる数字を何かしら示してほしい。例えば、取扱い数量や取引件数を示す伝票の枚数などがあるとより伝わりやすいと思われる。

(横展開に関する進捗状況（チェックリストの進捗）)

- 名称を「スマート林業・DX実践のための進捗度チェックリスト」とするのはどうか。
- フォーマットはクラウドとExcelという2つの方法があるが、クラウドは今後の森ハブ事業で実現し、現状は研修会等での使いやすさを考慮してExcelが良いと思われる。

(横展開に関する進捗状況（導入効果算定表の進捗と提案）)

- これまでは素材生産中心の評価だったが、今回は3地域とも流通に関するところに非常に重きを置いている。どの部分のコスト削減が図られるのかある程度分かっているため、その部分についてはきちんと計算して、費用対効果を見ることが必要ではないか。
- リードタイム、生産性を含めた評価は、いろいろな先生の見解も伺いながら検討を深めて欲しい。今回、流通のシステムによって材が迅速に出せるようになったことを定量的に評価することは必要である。

(了)